



年末年始は忘年会や新年会が多くありますね。立食パーティーに招かれることもあるでしょう。立食パーティーは気楽な印象がありますが、実は奥が深く、知っておきたいマナーもいろいろあります。スマートな立ち居振る舞いができるよう、立食パーティーのマナーをご紹介します。

立食パーティーの目的は？

おいしそうなお料理に目を奪われがちですが、目的は多くの方々との交流です。いろいろな方と知り合うチャンスでもあり、パーティーを盛り上げるポイントにもなります。会話と食事の割合は、「7対3」。仲間内だけで固まったり、壁際にじっとしていたりせず、初対面の方とも名刺交換をするなど、積極的に会場をまわり、多くの方と会話を楽しみましょう。

荷物は？

両手が使えるように、荷物やコートはクロークへ預けます。女性は、小さなショルダーバッグ程度は持ち込んでかまいませんが、会場のイスを荷物置き場にしないようにしましょう。

スピーチが始まったら？

主催者や来賓によるスピーチの最中は、グラスやお皿をテーブルに置き、聴く姿勢をとりましょう。名刺交換の際も同様にして、両手が使えるようにしましょう。

会場へ入ったら？

まずは、主催者へ挨拶をしましょう。忙しい場合は、少し時間をおいてからでもかまいませんが、タイミングをみて、必ず、お招きいただいたことへの感謝を伝えましょう。

料理の取り分け方は？

料理台には、料理が右から左（時計まわり）にコース順に並べられています。前菜から順に取りましょう。ひとつのお皿に盛りつけるのは3～4種類まで。お皿の7割程度が目安です。また、温かいものと冷たいものは別々のお皿に取り分けましょう。他の人の分まで取らず、自分の分を食べ切れる量だけ取り分けます。右利きの人は、左下を空けて盛りつけると左手で持ちやすくなります。右手は、握手やジェスチャーをするためにあけておきましょう。



食事をするときには？

料理台の前では立ち止まらず、立食用テーブルへ移動して、いただきます。食べ終わった食器は、サイドテーブルに置くか会場スタッフへ渡し、新たなお料理を取り分けるときは、お皿やフォークなどすべて取り替えます。

壁際のイスに座ってもいいの？

イスは、ご高齢の方や体の不自由な方のために用意してあるもの。基本的には座りません。長時間立っていても疲れず、履きなれた靴で出席することをおすすめします。

知らない人に声をかけても好意的に受け入れてもらえるのは、立食パーティーならではの、料理など共通の話題をきっかけにして、積極的にパーティーを楽しみましょう！

